

## 再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：三浦 真紀

<b>事業名</b> ：地域高規格道路 佐賀唐津道路 一般国道203号 多久佐賀道路（I期）	<b>事業区分</b> ：一般国道	<b>事業主体</b> ：国土交通省 九州地方整備局																								
<b>起終点</b> ：佐賀県多久市東多久町大字別府 佐賀県小城市三日月町長神田	<b>延長</b> ：5.3km																									
<b>事業概要</b> ： 多久佐賀道路（I期）は、唐津市と佐賀市を連絡する地域高規格道路「佐賀唐津道路」の一部を構成し広域的な交流・連携を支え、物流支援に寄与する事から、佐賀県における重要な路線として位置づけられる。さらに、当該地域の唯一の幹線道路となっている国道203号の交通混雑の緩和にも寄与する。																										
H15年度着工準備      H一年度都市計画決定      H一年度用地着手      H一年度工事着手																										
全体事業費      約280億円      事業進捗率      2%      供用済延長      —km																										
計画交通量      15,500台～21,300台/日																										
<b>費用対効果分析結果</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">B/C</td> <td style="text-align: center;">総費用</td> <td style="text-align: center;">総便益</td> <td style="text-align: center;">基準年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">平成23年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">181/189億円</td> <td style="text-align: center;">276/276億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">(事業費：168/176億円)</td> <td style="text-align: center;">(走行時間短縮便益：237/237億円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">(維持管理費：13/13億円)</td> <td style="text-align: center;">(走行経費減少便益：20/20億円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">(交通事故減少便益：19/19億円)</td> <td></td> </tr> </table>	B/C	総費用	総便益	基準年	(事業全体)	(残事業)/(事業全体)	(残事業)/(事業全体)	平成23年	1.5	181/189億円	276/276億円		(残事業)	(事業費：168/176億円)	(走行時間短縮便益：237/237億円)		1.5	(維持管理費：13/13億円)	(走行経費減少便益：20/20億円)				(交通事故減少便益：19/19億円)		費用対効果分析結果
B/C	総費用	総便益	基準年																							
(事業全体)	(残事業)/(事業全体)	(残事業)/(事業全体)	平成23年																							
1.5	181/189億円	276/276億円																								
(残事業)	(事業費：168/176億円)	(走行時間短縮便益：237/237億円)																								
1.5	(維持管理費：13/13億円)	(走行経費減少便益：20/20億円)																								
		(交通事故減少便益：19/19億円)																								
<b>感度分析の結果</b> 【事業全体】交通量：B/C=1.3～1.7（交通量±10%）      【残事業】交通量：B/C=1.3～1.7（交通量±10%） 事業費：B/C=1.3～1.6（事業費±10%）      事業費：B/C=1.4～1.7（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.2～1.7（事業期間±20%）      事業期間：B/C=1.3～1.7（事業期間±20%）																										
<b>事業の効果等</b> ①地域間の交流・連携の支援 ・沿線都市間の所要時間短縮により地域間交流を支援 ②交通混雑の緩和 ・国道203号の交通混雑の緩和 ・国道203号の損失時間の減少 ③交通安全性の向上 ・国道203号の交通量減少に伴う死傷事故率の低下 ④救急医療活動の支援 ・多久市から佐賀大学医学部附属病院への所要時間が短縮 ・救急医療活動のアクセス時間の短縮																										
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 佐賀県、佐賀市、唐津市、多久市、小城市ほか周辺自治体などの首長・議会議長で構成される国道203号佐賀・唐津幹線道路整備促進期成会（会長：唐津市長）や、国道203号バイパス多久・佐賀間整備促進期成会（会長：小城市長）より、早期整備の要望を受けている。（平成23年8月）																										
<b>県知事の意見</b> ： 事業継続については異議ありません。 佐賀県では、地域や産業の活性化や災害対策のため、地域間の移動時間や距離を短縮すること、また、予定している時間どおりに移動・輸送ができるようになることは非常に重要であると認識しており、このためには、県内の主要都市を結ぶ走行性の高い広域幹線道路ネットワークの整備が必要である。 今回の、再評価される多久佐賀道路（I期）は、広域幹線道路ネットワークを形成する道路と位置付けており、早期に整備を進めていただきたい。																										
<b>事業評価監視委員会の意見</b> 審議の結果、事業継続。																										
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> ・沿線地域の1世帯あたりの自動車保有台数は増加傾向であるとともに、国道203号の交通量は横這いであ																										

り、依然として混雑度が1.70と高い状況にある。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成22年度末の事業進捗率は事業費ベースで約2%である。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

地元や関係機関との協力体制のもと、事業効果を早期発現できるよう、用地買収着手、工事着手に向けて事業進捗を図っていく。

施設の構造や工法の変更等

新技術・新工法の積極的活用等による、着実なコスト縮減。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上事業の効果、事業評価監視委員会における審議、知事等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。